春から夏に播ける緑肥作物品種のご紹介



<詳しい播種期は特性一覧表をご覧ください>

ネマキング、ネマックス、 ネマコロリ (クロタラリア)



- ・各種線虫対策にはネマキングとネマックス、サツマイモ ネコブセンチュウ対策にはネマコロリが最適!
- ・ネマックスは晩生のクロタラリアで、開花は初秋(景観 美化にはネマキングが最適)。
- ・ネマコロリは50~60日栽培ですき込み可能。
- ・特にネマキングとネマックスは茎葉が柔らかく、すき込 み易くて好評。

播種量 ネマキング、ネマックス:6~9 kg/10a ネマコロリ:6~8 kg/10a

田助



- ・耐湿性に優れ、転換畑や排水不良地の土づくりに最適な 休閑緑肥!
- ・深根性で排水性を改善する。
- ・草丈が 1.5~2mの大柄、多収品種。

播種量 4 kg /10a(条播) 5 kg /10a (散播)

つちたろう

(ソルゴー)





- ・トマト、キュウリ、メロン等果菜類のサツマイモネコブ センチュウ対策に最適!
- ・サツマイモの休閑緑肥で線虫対策と土づくり。
- ・出穂が遅く、都府県の露地やハウスで、2か月栽培で5 ~6 / の有機物を確保(堆肥:3~4 / 分)
- ・ハウスでは過剰な塩類を吸収、刈り出せばクリーニング クロップとして利用可能です。

播種量 5 kg /10a

ねまへらそう





- ・出穂が遅い極晩生品種で分げつが多い。
- ・キタネグサレセンチュウや、サツマイモネコブセンチュ ウの密度を減らします。
- ・ギニアグラスに比べ、種子が大きく、発芽・初期生育が 良好で扱い易い。

播種量 5 kg /10a

春から秋に播ける緑肥作物品種のご紹介



<詳しい播種期は特性一覧表をご覧ください>

まめ助、藤えもん、実太郎(ヘアリーベッチ)(全国対応)

特性

- ・根に共生する根粒菌で土づくりと窒素減肥が可能。
- ・草生栽培やリビングマルチで雑草対策にも最適。
- ・まめ助: 早生・多収、藤えもん: 早生・立性、寒太郎: 晩生・ 多収
- ・寒太郎は積雪地帯でも越冬性良好。

播種量 3~5 kg /10a

栽培上の注意

・排水対策と覆土・鎮圧を必ず実施してください。

辛神

(チャガラシ)





特性

- ・アブラナ科の緑肥ですき込み後に分解して、イソチオシ アネートが病原菌や線虫を抑制。
- ・ホウレンソウ萎凋病、テンサイ根腐病、コムギ立枯病抑制に効果を発揮!

播種量 1.0 ~ 1.5 kg (生種子)、1.5 kg (コート種子)/10a 栽培上の注意

- ・ハウスは入り口をネットで閉め、虫害を防ぎます。
- ・すき込み後の灌水処理とビニール被覆で効果が安定します。

(エンバク野生種) 全国 対応 寒地型線虫対抗作物

特性

- ・ダイコン、ニンジン、ゴボウ等の大敵:キタネグサレセンチュウを撃退!
- ・発芽・初期生育が旺盛で雑草抑制効果抜群!扱い易い!
- ・アブラナ科根こぶ病、ジャガイモそうか病、バーティシ リウム萎凋病を減らす。
- ・約2か月栽培で堆肥2~分の有機物を補給。

播種量 10~15 kg /10a

栽培上の注意

・都府県(一般地)の播種は5月まで、これ以降はねまへら そうかソイルクリーンで対応してください。

R-007

(ライムギ)





特性

- ・積雪地帯での越冬利用に最適。
- ・春播きで出穂が少なく、雑草抑制のカバークロップと して最適!

播種量 10~15 kg /10a

栽培上の注意

- ・出穂前にすき込みましょう。
- ・春播きで線虫抑制には使用できません。